

本田技研工業株式会社 鈴鹿製作所



外観

本田技研工業株式会社の「鈴鹿製作所」では、女性活躍推進に向けた女性トイレの改修を実施した。



トイレ入口

施設への愛着を醸成し、大切に利用する意識向上へつなげるために、建材の選択など女性社員自らがトイレづくりに参画した。

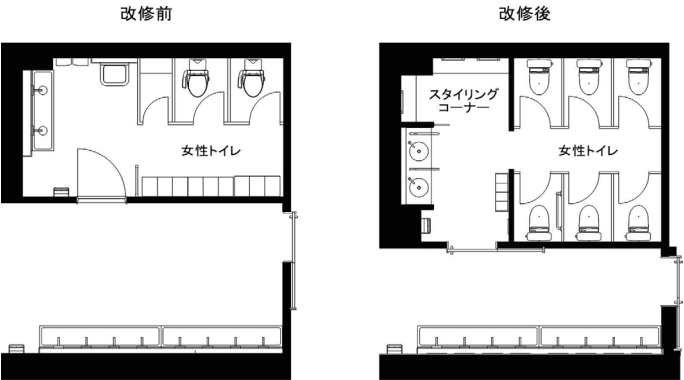


女性トイレ 洗面コーナー

衛生面に配慮し、非接触で手洗いができる自動水栓やクリーンドライを採用。また、冬でも温かいお湯が使えるよう電気温水器を設置している。

女性トイレ図面

改修後はトイレスペースを拡張し、大便器ブースを2ブースから6ブースに増設。また、3名が同時に使用できるスタイリングコーナーも新設した。



女性トイレ
スタイリングコーナー



トイレは、白を基調とした明るく清潔感のある空間。混雑緩和と快適性の向上を図るため、当施設のトイレで、初のスタイリングコーナーを採用している。



女性トイレ
スタイリングコーナー

隣人の映り込みに配慮して個別鏡を採用した、落ち着いて化粧ができるスタイリングコーナー。手荷物に配慮して、2段のカウンターを設置している。



女性トイレ 小物入れ

菌みがきセットや化粧品、生理用品など日常に必要な小物を収納でき、中箱を持ち運びができる小物入れを完備。また、身繕いをチェックできるように全身鏡も設置している。

水まわりの特長

改修の経緯

「本田技研工業株式会社 鈴鹿製作所」では、女性がより働きやすい職場環境の実現を目指し、女性トイレの改修を実施。計画にあたっては、利用実態や今後の女性配置を踏まえたニーズを調査するとともに、TOTOテクニカルセンターの知見を活用し、混雑緩和を図るレイアウトを検討した。さらに、建材や内装の選定に女性従業員が参画。利用者目線による快適性向上と、心地よく利用できる体験価値の創出を追求した空間づくりを推進した。

トイレの特長

トイレ全体のスペースを有効活用し、大便器ブースを2ブースから6ブースへ増設。スタイリングコーナーを設置して洗面コーナーと機能分散させ、混雑緩和とゆとりのある快適な空間を実現した。利用者からは、「朝や休憩時間でもストレスなく利用できる」「スタイリングコーナーと洗面コーナーが分かれているため、ゆっくり利用できる」「動線がわかりやすく混雑しにくい」といった多くの喜びの声が寄せられている。また器具は、清掃性や省エネ性に優れたパブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式やウォシュレットPS、非接触で衛生的に手洗いができる自動水栓を採用。働きやすさの向上と快適な利用体験の提供を通じて、職場環境の改善へ貢献している。

建築概要

名称	本田技研工業株式会社 鈴鹿製作所
所在地	三重県鈴鹿市平田町1907
施主	本田技研工業株式会社
設計	戸田建設株式会社
施工	戸田建設株式会社
竣工年月	(改修)2026年3月
おもなTOTO使用機器	
パブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式:CFS498B	
ウォシュレットPS(擬音装置「音姫」付きエコリモコン):TCF5524AU	
棚付二連紙巻器:YH702/スタンダード(陶器タイプ):ML50	
洗面器:L530/台付自動水栓:TLE28SS1A	
電気温水器:REW12A1B1KS/クリーンドライ(ハンドドライヤー):TYC420W	
パブリック用手すり:T112CL9、T112CP5S/全身鏡:YM510	
小物入れ:UTR429	



女性トイレ
大便器コーナー

全体的なトーンを統一しながら大便器ブースの扉とブースの色を変えることで、使用中のブースがひと目でわかるように配慮。ブース材も、女性社員の意見を取り入れて選定された。



女性トイレ
大便器ブース

タンク式と同じ給水口径15Aで、フラッシュバルブ式同等の連続洗浄ができるパブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式を採用。押すたびに発電し、電源工事や乾電池の交換が不要なエコリモコンを選定している。



女性トイレ
大便器ブース

さまざまな利用者に配慮して、大便器の1ブースにはL型手すりを設置している。